LIXIL

保証書付
（裏表紙）
定期点検情報掲載

電気温水器専用

熱湯用単水栓

一般地・寒冷地共通:SF-WCH120型

左記の品番は代表品番です。品番の特定は商品の品番シールをご確認ください。品番シールの位置は「アフターサービスについて」をご覧ください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

●工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・ 1-3
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
凍結の恐れがある場合 ・・・・・・・ 6

日常のお手入れ ・・・・・・・・・・・・ 7
定期的なお手入れ ・・・・・・・・・・ 8

修理を依頼される前に ・・・・ 9-11
アフターサービスについて ・・・ 12

仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 裏表紙

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。
  いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

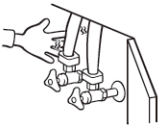
注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物理的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

(禁止)……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

(分解禁止)……「分解してはいけません！」

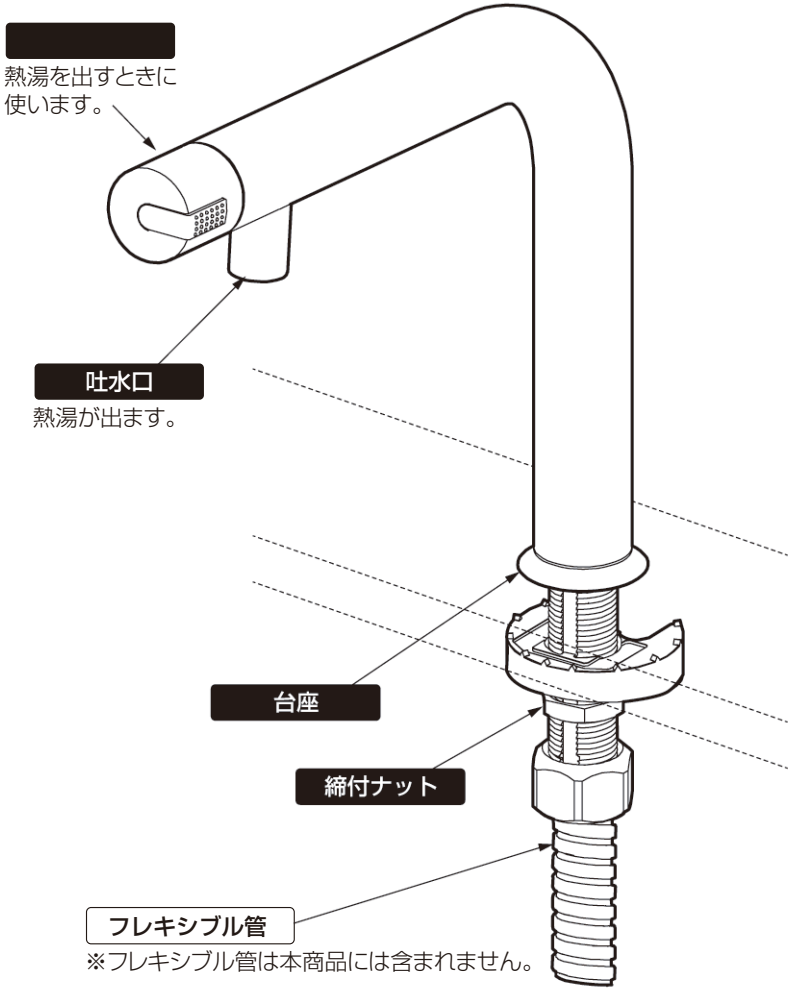
(指示)……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動禁止記号です。）

⚠ 警告		
(禁止)	**給湯機器の温度設定は93℃以下で使用してください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(分解禁止)	**修理技術者以外の人は水栓を分解したり、修理したりしないでください。** ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
(禁止)	**熱湯を出しながら吐水口を動かさないでください。** ※熱湯が飛び散り、ヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**本体がガタついた状態で使用しないでください。** ※水栓が破損し、ヤケドや家財を濡らす恐れがあります。	
(禁止)	**小さいお子さまだけでのご使用は避けてください。** ※ヤケドやケガをする恐れがあります。	
(接触禁止)	**給湯配管やカウンター下の給湯配管に直接触れないようにしてください。** ※ヤケドをする恐れがあります。	
(禁止)	**定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。** ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
禁止)	**電気温水器との組み合わせや他要因により、水栓金具が振動し続ける状態では使用しないでください。** ※熱湯が飛び散り、ヤケドをする恐れがあります。	
禁止)	**他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯量が急に変動することがあります。** ※同時使用のないように注意しないと、ヤケドをする恐れがあります。	

安全上のご注意

⚠ 注意		
(禁止)	**衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。** ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因になります。	
(禁止)	**吐水口の先端に止水機能付きの浄水器（浄水器で水を出したり止めたりできるもの）などは、取り付けないでください。** ※水栓からの漏水や、給湯器側への逆流の恐れがあります。	
(指示)	**ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こす恐れがありますので、ゆっくり操作してください。** ※漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
(指示)	**キャビネット内の物を出し入れするとき、給湯配管に引っ掛けるなど、配管に無理な力が加わらないようにしてください。** ※給湯配管の外れや損傷による漏水の原因になります。	
(指示)	**メッキ面のハガレはそのまま放置しないでください。** ※メッキ面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。	
(指示)	**凍結の恐れがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。** ※水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。配管部などに保温材を巻いてください。 凍結による破損は保証期間内であっても有料修理になります。	

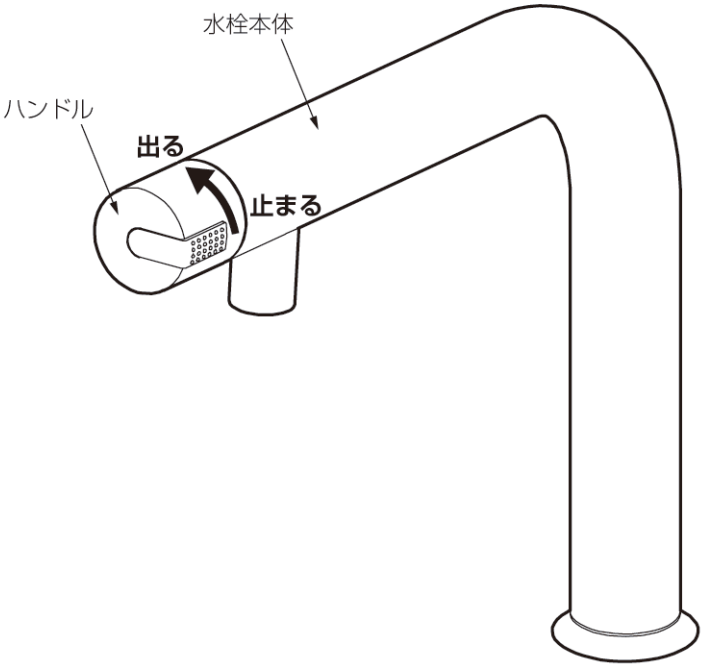
各部の名称


熱湯を出すときに
使います。
吐水口
熱湯が出ます。
台座
締付ナット
フレキシブル管
※フレキシブル管は本商品には含まれません。

ご使用方法

熱湯を吐水・止水する

ハンドルを反時計回りにひねると熱湯が出ます。
ハンドルを時計回りに戻すと熱湯が止まります。



注 意

●熱湯が出ますので、十分に気をつけて操作してください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●使用する前にハンドル全開で5秒以上熱湯を流し、吐水状態が安定することを確認してください。
※電気温水器内の空気を巻き込み、吐水が乱れてヤケドをする恐れがあります。

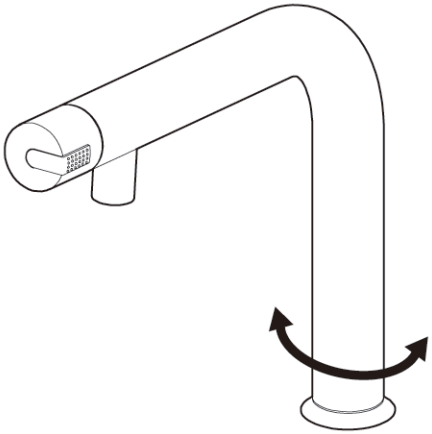
●吐水口の下に手を出さないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●ハンドルを操作する際は、本体を触らないよう注意してください。
※本体が高温になっており、ヤケドをする恐れがあります。

●ハンドルはゆっくり操作してください。
※急に止めると漏水の原因となります。

吐水口部を回す

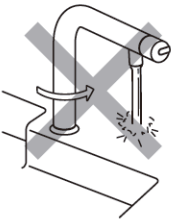
吐水口部を回して、お好みの位置で使用することができます。
※品番によっては、図と現品の仕様が一部異なります。



注 意

●吐水口部を回す際は、本体を触らないよう注意してください。
※本体が高温になっており、ヤケドをする恐れがあります。

●吐水口部をシンクの外に飛び出さないように納めてください。
※ヤケドやケガをしたり、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理になりますので、ご注意ください。

凍結予防のしかた

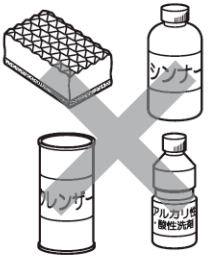
凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。
●水栓から少量の水を流し放しにする。
●配管などに保温材を巻く。

日常のお手入れ

●水栓の表面の汚れはやわらかい布でふき取ります。汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふき取り、そのあと洗剤が残らないように水ぶきします。

●水栓の表面を傷つけたり、浸したりする恐れのあるものは使用しないでください。

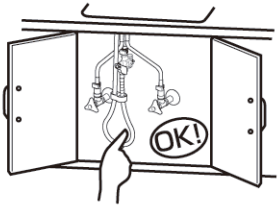
- クレンザー、磨き粉などの粒子を含んだ洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ステンレスたわし、ブラシなど



定期的なお手入れ

水まわりの水漏れ（年2回以上）

●水まわりの水漏れがないか点検してください。
●見えない部分は特に注意が必要です。
（洗面台・キッチンキャビネット内）
※劣化・摩耗などで部品が破損し、ケガをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



水栓本体のガタツキ（年2回以上）

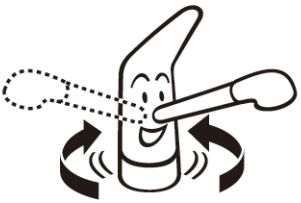
●水栓本体のガタツキがないかを確認してください。
※水栓本体にガタツキがあるままお使いになると、配管に負担がかかり、水漏れの原因になります。

水栓本体にガタツキがある場合は、お求めの取付店・販売店またはLIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。

吐水口部の操作性（月1回以上）

●ときどき吐水口部を回してください。
※吐水口部を長時間回さずに使用すると、回転部に水あかなどが付着し、回りにくくなります。無理に回そうとすると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

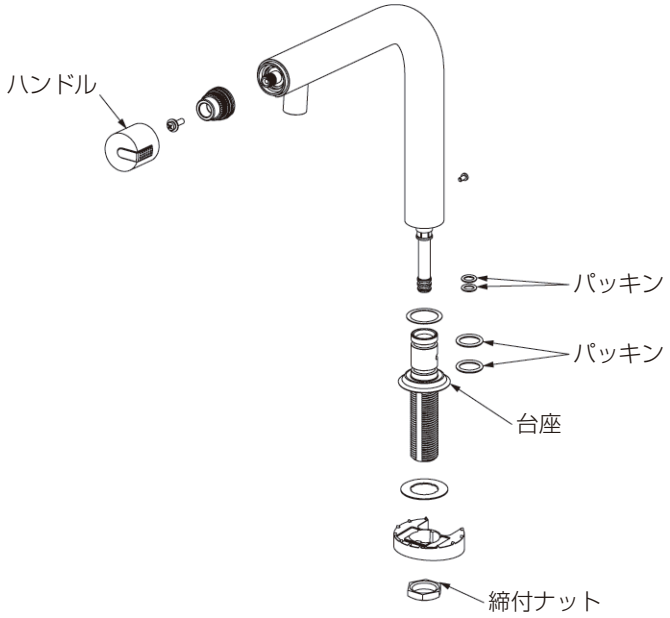
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店または LIXIL修理受付センターへ修理をご依頼ください。



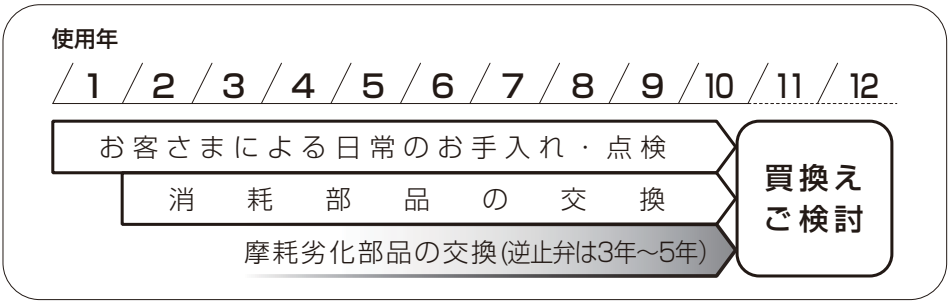
修理を依頼される前に

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例（水栓の種類によって異なります）
例）ハンドル、パッキンなど
●部品の交換については、お求めの取扱店またはLIXIL修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。
※保証期間外の各部品交換は、有料になります。



定期的な点検・部品交換のめやす



簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

※確認箇所名称については「各部の名称」(P4)を参照してください。

現　象	確　認　内　容	処　置　方　法	参照ページ
吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く。	−
	断水中ではありませんか？	回復するまで待つ。	−
流量が少ない	止水栓を絞りすぎていませんか？	適切な流量になるまで止水栓を開く。	−
希望の温度の湯が出ない	給湯器から十分な温度のお湯がきていますか？	給湯器の設定温度を確かめる。	−
	給湯器のお湯を使い切っていませんか？	湯の再沸きあがりまで待つ。	−
水栓本体がガタつく	締付ナットが緩んでいませんか？	締付ナットを増し締めします。	4
ハンドルがガタつく	ハンドルが緩んでいませんか？	ハンドルを取り外し、ビスを増し締めして、ハンドルを水栓本体にしっかりと押し込みます。	11
ハンドルの表示がずれる		ハンドル取り付け角度の調整を行います。	11
水栓から水が漏れる	パッキンがもろくなっていませんか？	取扱店に連絡してください。	−

●水を止めた後に少しのあいだ水が垂れる･･･
内部に溜まった少量の水が排出されるためで、故障ではありません。

以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、止水栓を閉じ、取扱店またはLIXIL修理受付センターまでお問合せください。

TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456

修理を依頼される前に

ハンドル取り付け角度の調整

ハンドル表示にズレが生じた場合は、ハンドルを付け直すことで角度を調整できます。

1 ハンドルを開にして、機器内の湯が水になるまで流し続ける。

注 意

ヤケドに注意してください。
※機器内に湯が残っていると、作業時に不意に熱湯が出てヤケドをする恐れがあります。

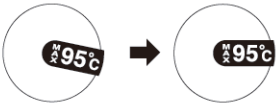
2 止水栓を閉じる。（右いっぱいに回す）

3 水栓本体を押さえながら、ハンドルを引き抜く。

注 意

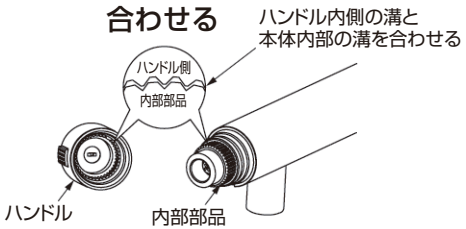
水栓本体が熱くなっていないことを確認してから押さえてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

4 ハンドルのグリップ部の向きを合わせて、水栓本体に付け直す。



調整前
（一例）

調整後
9°きざみでの
調整が可能です



注 意

- **内部部品のOリングにオイルやグリスをつけないでください。**
  ※ハンドルが外れやすくなります。
- **内部部品のOリングに傷をつけたり、ゴミかみがないよう注意してください。**
  ※ハンドルが外れやすくなります。

ポイント

- **ハンドル内側の溝と内部部品の溝を合わせて挿入する。**

アフターサービスについて

1.修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P9～11)を参照して確認する。

⚠ 警 告

(分解禁止)

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造は行わないでください。
※異常作動してケガをすることがあります。

2.保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

《保証期間中は》

●修理に際しては、保証書をご提示ください。
●保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

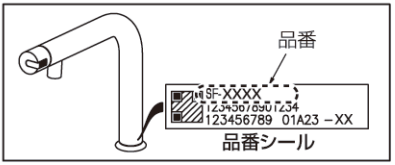
●修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

●"技術料"＋"出張料"＋"部品代"で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

1. ご住所、ご氏名、電話番号　　2. 商品名
3. 品番(商品に表示、右図参照)　　4. 購入日
5. 故障内容、異常の状況　　6. 訪問ご希望日



4.部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5.アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店、または LIXIL修理受付センターに連絡してください。

LIXIL修理受付センターまで　(ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/)

TEL 0120-179-411　　受付時間 9:00～20:00　365日受付
FAX 0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは》

お客さま相談センターまで　　受付時間　平日　9:00～18:00
TEL 0120-179-400　　土日・祝日　9:00～17:00
FAX 0120-179-430　　(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

(携帯電話・PHS・IP電話などからフリーダイヤルがご利用できない場合)
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053

●当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

仕様

使用可能水質	水道水（※1）	
使用最高温度	95℃以下	
使用環境温度	−20℃〜40℃（※2）	
給水給湯接続	PJ1/2	
圧力条件	0.05MPa（流動圧）〜0.085MPa（静水圧）	
取付条件	水栓取付穴：φ24±2mm	カウンター厚：5〜30mm
備考	飲料用電気温水器以外の給湯機器との接続はできません	

※1：水道法に定められた飲料用の水質基準に適合する水をいう。
※2：ただし、内部の水を凍結させないでください。

MEMO

LIXIL

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：熱湯用単水栓　　（品番：　　）			
保証期間	取付日より　2ヶ年	取付日	年　月　日
お客さま	おなまえ　　様	取扱店名	
	おところ		
	おでんわ　（　　）	TEL（　）　－	

無効

お客様へ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1. [取扱説明書]・[ラベル]などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは LIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   (1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
   (2) 指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合
   (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷・地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合よる故障及び損傷
   (10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障および損傷
   (13) 水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
   (15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
   (16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合
   (17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
   (18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ケ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL 0120−179−400
FAX 0120−179−430

携帯電話・PHS・IP電話などからフリーダイヤルがご利用できない場合

TEL 0562−40−4050
FAX 0562−40−4053

受付時間：平日　9:00〜18:00
土日・祝日　9:00〜17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL 0120−179−411
FAX 0120−179−456
受付時間：9:00〜20:00（365 日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GMS-1875(15071)